

# 『天孫降臨』



自民党総務会長代理  
参議院議員

松下新平



平成18年の政経文化画人展に出品して芸術  
議員連盟奨励賞をいただきました。

皇祖神天照大御神がその孫瓊杵尊に三種  
の神器と国土統治の無窮を説いた神勅を与え  
て、国土統治のため高天原から日向国高千穂  
峰に降臨させたという神話をモチーフに美術  
大出身の従兄弟からアドバイスを受けながら  
精魂込めて作成しました。

『昔の宰相は絵心があった。』国会議員になっ  
てたびたび耳にしていました。もちろん、昔  
が暇で絵を描く時間があったわけではありま  
せん。大所高所からの決断が求められるから  
こそ、精神性が重視されるまつりごとを執る  
者の嗜みであったと解します。

なるほど、コロナ禍を経験し、文化芸術の  
持つ力は、すべての国民が真にゆとりと潤い  
を実感できる心豊かな生活を実現していく上  
で不可欠なものであり、国民全体の社会的財  
産であるとの再認識がなされました。文化芸  
術の持つ、人々を引き付ける魅力や社会に与  
える影響力、すなわち、「文化力」が国の力だ  
あるということが世界の常識でもあります。

歴史を紡いできた、自然に恵まれた日本だ  
からこそ、文化芸術で国づくりを進める「文  
化芸術立国」を目指し、『争い合う時代から、  
許し合う時代へ』を実践して参ります。